

市政を聞く 一般質問

3月定例会の一般質問は、
11日、13日の両日行われ、
11名の議員が市政各般にわたり、
一般質問を行いました。



山本 益弘 議員

問①

公民館管理運営について、各地区の公民館は独自の運営ができないか。公民館のあり方検討プロジェクトチームの役目を問う。

答

地区公民館には規則以外、地域の独自性を出す運営をお願いしている。プロジェクトチームにはあるべき姿について意見を求めていく。

問②

南川湯岡橋上流の改修工事の継続と、多田川改修工事の今後の予定を問う。

答

南川については十四年度に残り九十メートルを施工し、その上流部を引き続き施工していただけるよう県に強く要望していく。多田川については、県において十四年

質問者	件名
山本 益弘	◎公民館の管理運営について ◎河川改修工事について ◎生活路線バスの運行について
池尾 正彦	◎政策法務室の新設について ◎北朝鮮による拉致疑惑問題について ◎小中学校施設の耐震診断について
西本 正俊	◎どうなる2003そして未来へ ◎バイオエネルギーについて ◎「一隅を照らす」政策について
清水 正信	◎食のまちづくりと拠点施設について ◎組織機構改革と意識改革・構造改革について
宮崎 治宇蔵	◎平成14年度当初予算について ◎上水道第3期拡張事業について ◎学校給食自校方式について
山口 貞夫	◎行財政改革の進め方について ◎市町村合併について ◎臨港線開通に伴う交通事故対策について
中村 千代子	◎子育て支援について ◎若狭路博と（仮称）御食国会館について ◎チャイルドシートの補助制度について ◎ペットボトルの小袋使用時期について
荒木 弘	◎市町村合併について ◎財政の見通しと主要事業計画について
深谷 嘉勝	◎今津・上中鉄道新線建設について ◎食のまちづくりについて
小堂 清之	◎ペイオフの解禁による公金保護対策について ◎市道等の整備について
池田 英之	◎食のまちづくりの環境整備と情報発信について ◎広域鉄道網の整備について ◎学校完全週5日制の対応について

問③

生活路線バスの運行路線の見直しおよび路線新設の可能性はあるか問う。

答

よりよく利用していただけるように見直しはする。新設についても西街道完

度事業採択再開に向けて取り組んでいただく。



池尾 正彦 議員

問①

平成十四年度組織機構改革で新設した「政策法務室」について。

答

法律を勉強した職員を数人配置。高度な専門教育と知識の習得の為に、大学やシンクタンク等に派遣して研修させ、体制の充実をはかる。

問②

小浜市として小浜市民の「北朝鮮による拉致疑惑問題」について今後の対処方法をどのように考えているのか。

答

拉致疑惑家族への支援活動は今後も続けていく。平成十五年に計画されている「拉致された日本人を救う福井の会」の小浜市での「市民集会」には、チラシの印刷や人的支援などで協力する。

問③

小浜市立小・中学校施設の耐震診断について。

答

福井県下七市で耐震診断を実施していないのは小浜市のみであり、認識の甘さを反省する。早急に耐震診断計画を作成し、実施する。



西本正俊 議員

問①

「どうなる2003
そして未来へ」若狭路博2003
の活用策と将来展望について
どう考えるか。

答

食のイメージを定着
させ全国に情報発信する。将
来の交流・定住人口の拡大に
つなげ、琵琶湖・若狭湾鉄道
新線や近畿自動車道全線開通
の早期実現にもつなげていき
たい。

問②

「バイオエネルギー」
について、食のまちづくりと
きれいにマッチするバイオエ
ネルギーの先進都市を目指し
てはどうか。(PFI手法を活
用して)

答

県内外の実態調査や
先進地視察を実施し、PFI
手法も視野に入れた企業誘致
など広範囲の研究を進める。



清水正信 議員

問①

小浜の持つ物に付加
価値をつけ、それを高めてい
く食のまちづくりに重要な農
水産物の質の向上と拡大につ
いて。

答

稚苗の放流・海底の
清掃、耕運等を実施、品質特
色をアピール、産地化ブラン
ドにより販路拡大を図る。

問②

よい森なくして豊か
な漁場なく川を守る事は森を
育む事、環境を保全する活動
について。

答

漁業者と林業者が連
携し山に広葉樹の植林事業を
展開、河川の流域機能重視か
ら自然環境重視、自然の溪流
型への取り組みを図る。

問③

食のまちにふさわし



宮崎治宇蔵 議員

問④

組織機構改革、企画
経営部の狙いとは。

答

管理型から経営型へ
行政を経営的感覚を持つて行
う。

問①

平成十四年度当初予
算について。

答

景気対策として緊急
雇用対策事業に三〇、一九二千
円取り組んでいる。今後とも
国の経済対策等をみながら予
算措置を積極的に行いたい。

い「おばま」のよさを発信で
きる食の拠点施設について。

答

キッチンスタジオ、
温浴施設の軽食のほか、拠点
施設の別棟で御食国料理で対
応したい。

問②

上水道第三期拡張事
業について。

答

河内川ダム建設事業
の工期と事業費の変更に伴
い、新たな事業計画を策定し、
水源の確保を検討したい。

問③

学校給食における自
校方式について。

答

センター方式よりは
暖かい、調理員の心のこもつ
た給食が食べられる。食を通
じて「感謝の気持ち」「もて
なしの心」を育てる教育に取
り組む。



山口貞夫 議員

問①

行財政改革について。

答

行政改革のため、政
策評価、施策評価、事務事業
評価があり、平成十四年度当

初予算から成果主義の徹底と
市民の立場から、試行的に事
務事業評価システムを取り入
れた。目標管理制度の導入は、
行政改革をする上で有効な手
段であり、適宜・適切に実施
する。

問②

市町村合併について。

答

できるだけ早く合併
できるよう努力したいが、各
自治体の気運が同じように高
まらなければならず、時間が
かかる。

問③

臨港線開通に関する、
交通事故防止対策について。

答

危険性を認識してお
り、早急に対策を立てる。神
田橋交差点の電柱の移設や、
水路改良などで、市道を拡幅
して、信号が設置できるよう
にしたい。